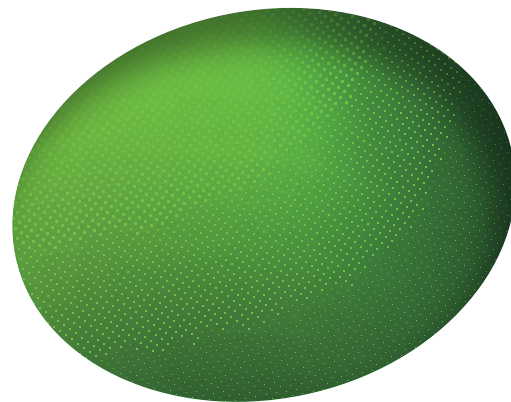


あなたと“未来”を見つめます。

U-BANK えいわ

永和信用金庫 ディスクロージャー

DISCLOSURE 2023



with your smile
これまでも
これからも
since 1931

これまでも これからも with your smile

永和信用金庫は、コミュニティバンクとして地域とともに成長してまいりました。
これからも変わらず、皆さまに元気と笑顔をおとどけし、
地域の発展に貢献できるよう役職員一同全力で取り組んでまいります。

経営理念

私たちは、
地域金融の担い手として誇りを持ち、
お客さまとの共感と信頼を大切にし、
健全経営を軸に
創意と活力のある金庫をめざす。

行動指針

創造する心
何ごとにも創造的に取り組み、挑戦する活力を持つ。

柔らかな視座
常にお客さまの身になって考え、誠実に行動しよう。

新時代への感度
情報感度を高め、新時代に対応するセンスを身につけよう。

確かな品質
高品質の商品とサービスを確実に、迅速に提供しよう。

CONTENTS

経営理念・行動指針
ごあいさつ

■ 地域社会と歩む

ハイライト 3

■ 地域との共生

金融仲介機能の発揮状況 5
持続可能な社会の実現に向けて 9
社会貢献活動 10

■ えいわの健全性

内部管理態勢 11
コンプライアンス態勢 13
コーポレートガバナンス ~総代会制度~ 15
U-BANKネットワーク 17

■ 営業のご報告

預金商品 19
融資商品 21
各種サービス業務と主要な業務内容 22
手数料一覧 23
金庫の概要 25
信金中央金庫のご紹介 27

■ えいわの業績

2022年度の業績について 29
決算のご報告 31
主要経営指標 35
預金・融資の現況/国際業務 37
リスク管理債権等 39
証券業務 41
当金庫の自己資本の充実の状況等
について 43
開示項目一覧 49

ごあいさつ

「頼りがいのある 良きパートナーとしての信用金庫」を めざします。

おながよりお
理事長 翁長自夫



皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は永和信用金庫に対し格別なお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

当金庫の業務内容、業況について一層のご理解を深めていただきたく、「永和信用金庫 ディスクロージャー 2023」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2022年度の日本経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大があったものの、政府のウィズコロナ政策の影響もあり、緩やかな持ち直しが続きました。しかし、一方で世界的な資源価格の高騰に加え、海外経済の減速懸念など経済を取り巻く環境は不透明な状況が続いています。

地域のお客さまにおかれましても、収益性向上や人材確保、事業承継等さまざまな課題を抱え、経営環境は依然として厳しい状況が続いています。こうした状況の下、金融機関には柔軟で機動的な資金繰り支援だけでなく、お取引先の事業への理解を深めるとともに、経営課題解決のサポートをしていくことが求められています。

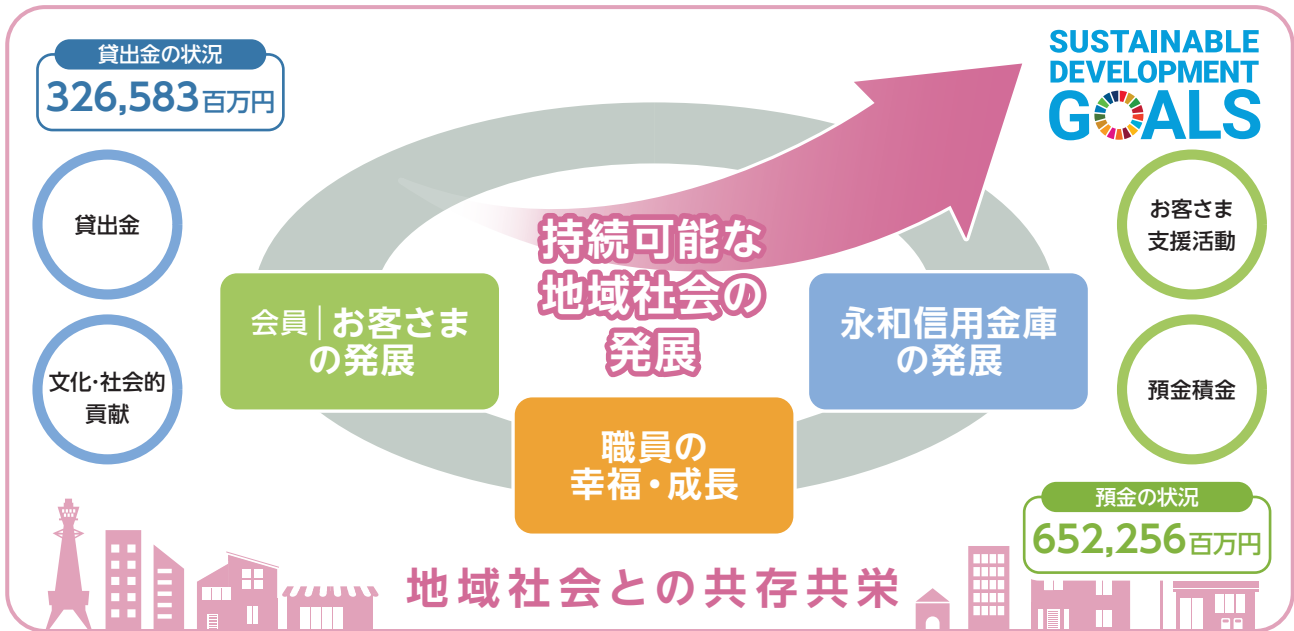
当金庫はこれからもお客さまに寄り添った活動を実践し、中期ビジョンとして掲げている「頼りがいのある良きパートナーとしての信用金庫」の実現に向けて取り組んでまいります。

皆さまには、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2023年7月

U-BANK えいわ がめざすもの

(計数はいずれも2023年3月末現在)



永和信用金庫は、貸出先数における製造業の比率**全国1位***

モノづくりのまち「大阪」。そんな地域で長年日本のモノづくりを支える製造業とともに成長してきた結果、貸出先数における製造業の比率は全国の信用金庫で1位です。

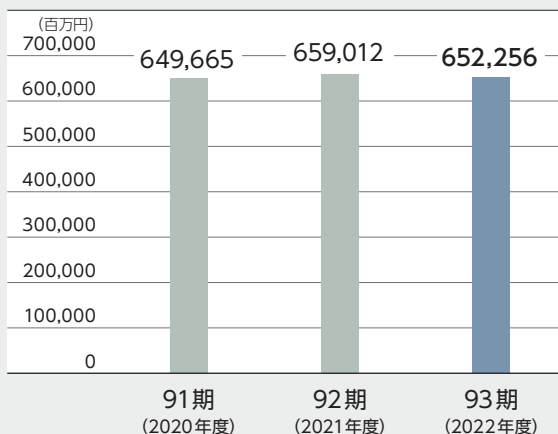
貸出先数における卸売・小売業の比率は**全国4位***

大阪は言わずと知れた「商人のまち」でもあります。こちらも地域経済の発展に貢献している証と言えます。貸出先数における卸売・小売業の比率は全国4位です。

※いずれも2022年3月末時点の調査

預金残高

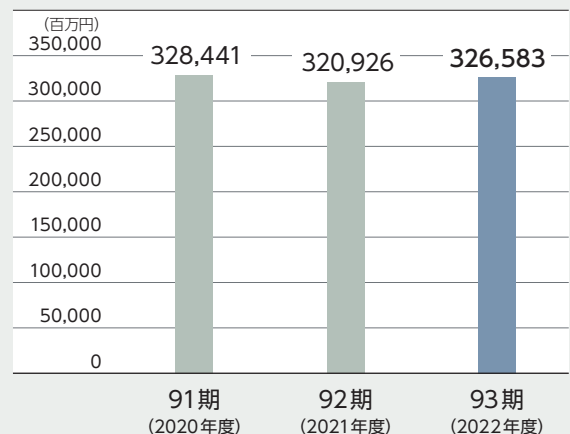
お客さまからご信頼いただき、残高は堅調に推移しています。



➡ さらに詳しい内容は37ページをご覧ください。

貸出金残高

お客さまの多様な資金ニーズに積極的に対応しています。



➡ さらに詳しい内容は37ページをご覧ください。

地域との絆を大切に、 ともに歩んでまいります。

永和信用金庫は2021年9月に創立90周年を迎えました。創業以来、信用金庫としての使命・役割を果たすべく、地域のお客さまに寄り添い、きめ細やかなサポートに努めてまいりました。

これからも地域との絆を大切にし、お客さまとの「長いおつきあい」や「対話」を通じて信頼関係を構築し、リレーションシップ・バンキングを実践してまいります。

永和信用金庫SDGs宣言

永和信用金庫は経営理念に基づき、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献してまいります。

地域金融機関として地域の社会的課題解決と経済成長の両立を実現するため、さまざまな事業活動を通じて社会の持続可能な発展と地域との共存共栄の好循環形成に努めてまいります。



未来に向かって「変革」していきます。

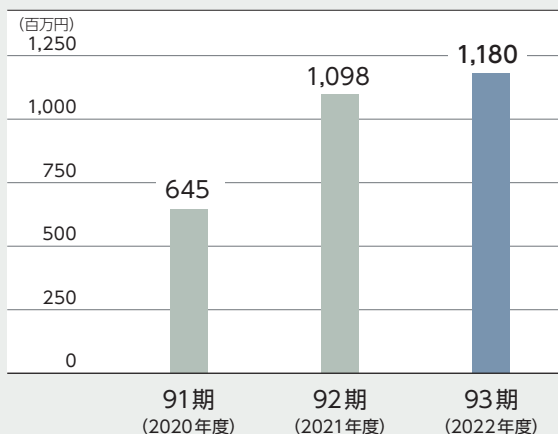
永和信用金庫では、時代とともに移り変わるお客さまのニーズや社会環境の変化に適応していくため、本部各部署・営業店が一丸となって「変革」に取り組んでいます。

創立90周年記念事業として本店別館を建て替え、バックオフィスセンターを設置するなど事務の本部集中化を進めています。

さらに、2023年5月隣接地に第2別館を新築し、事務効率化をさらに進めるとともに、「コミュニティスペース」を新設して地域の方々との交流の場として活用しています。

当期純利益

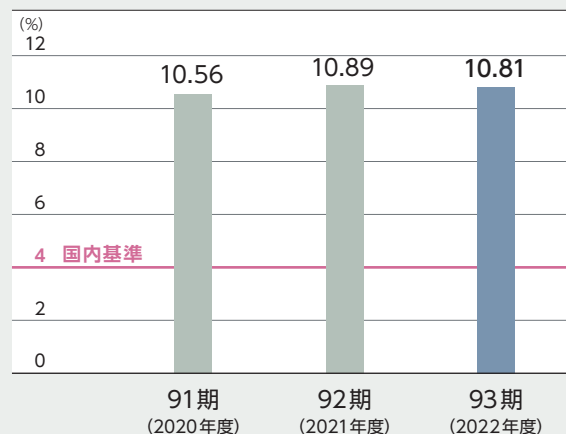
厳しい収益環境下でしたが、合理化を進め当期純利益を確保しています。



☞ さらに詳しい内容は32ページをご覧ください。

自己資本比率

安心・信頼の健全経営をモットーに、高水準の自己資本比率を維持しています。



☞ さらに詳しい内容は43ページをご覧ください。

柔軟な組織づくりに努めています

所在地

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目7番20号
電話 06-6633-1181 (大代表)

創立

1931年9月21日

役員 (2023年6月30日現在)

理事長 (代表理事)	翁 長 自 夫
専務理事 (代表理事)	山 本 享 良
常勤理事	仲 喜 之
常勤理事	尾 上 剛 司
常勤理事	八 嶋 宏 佳
常勤理事	木 村 孝 (※1)
常勤理事	佐々布 晃
常勤理事	松 山 忠 司
常勤理事	加 藤 聡
非常勤理事	今 村 峰 夫 (※1)
常勤監事	井 崎 研 二
非常勤監事	木 村 文 俊 (※2)
非常勤監事	宮 本 佳 宥 (※2)

※1 理事 木村 孝、今村 峰夫は、信用金庫業界の「総代会の機能向上等に関する申し合わせ」に基づく職員外理事です。

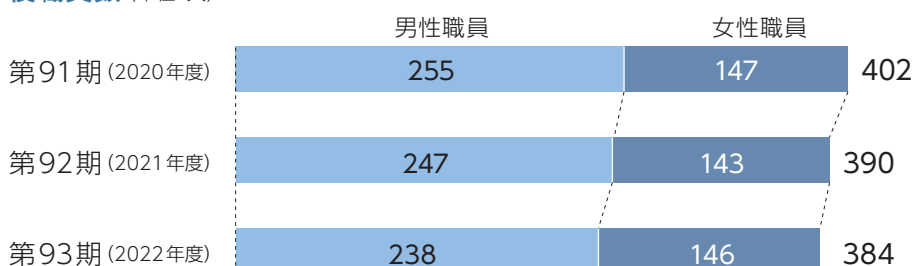
※2 監事 木村 文俊、宮本 佳宥は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

会計監査人 (2023年3月31日現在)

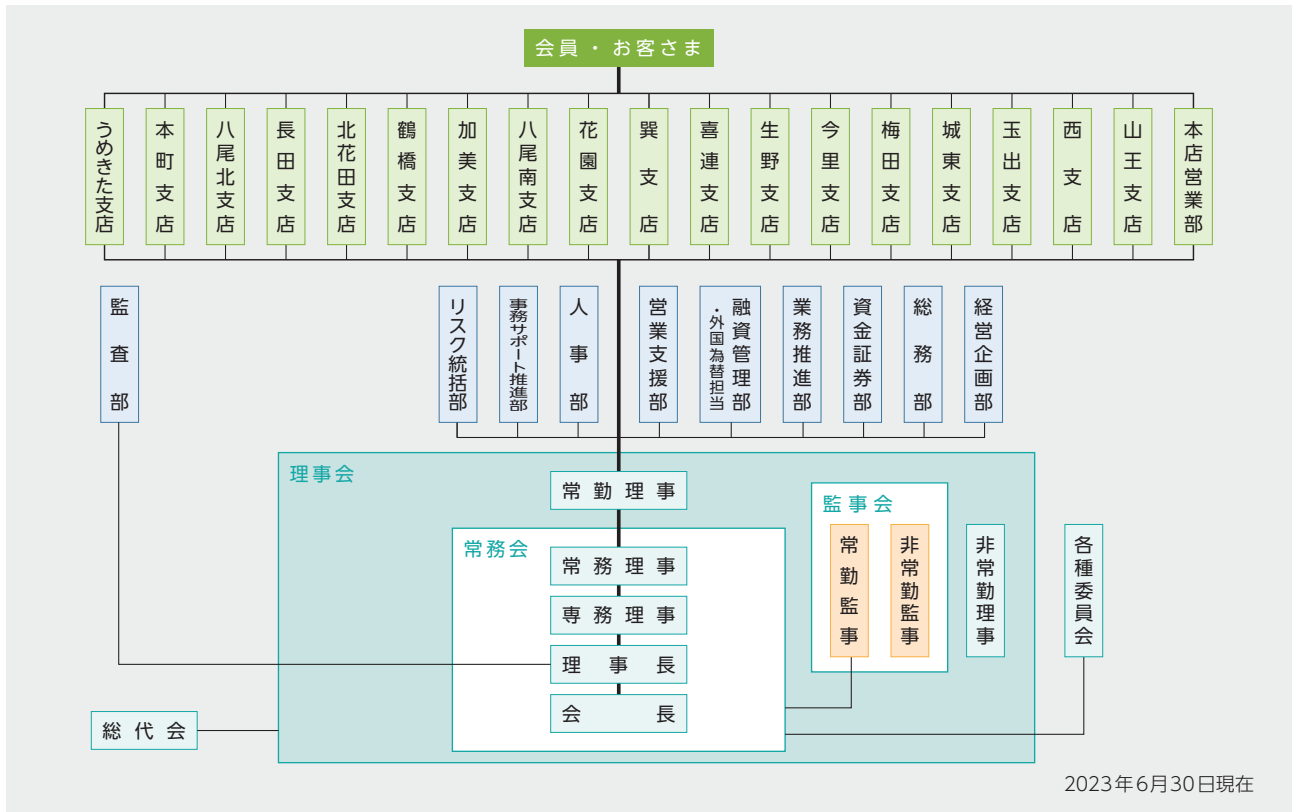
あずさ監査法人

役職員の状況 (役職員数には嘱託職員を含みます)

役職員数 (単位:人)



組織図



金庫の沿革

1931年 9月 有限責任山王信用組合を大阪市西成区山王町に設立
 1949年 12月 消費生活共同組合法により市街地信用組合に改組
 1950年 4月 中小企業等協同組合法により信用協同組合に改組
 7月 大阪市西区に西支店開設
 1951年 10月 信用金庫法により山王信用金庫に改組
 11月 西支店新築移転
 1953年 6月 大阪市浪速区に日本橋支店開設
 1955年 10月 大阪市西成区に玉出支店開設
 1957年 5月 大阪市城東区に城東支店開設
 1958年 12月 名称を永和信用金庫と改称し、本店を日本橋支店所在地に
 旧本店を山王支店に改め、日本橋支店を廃止
 1959年 11月 大阪市北区に梅田支店開設
 1962年 8月 大阪市東成区に今里支店開設
 1964年 8月 大阪市生野区に生野支店開設
 1968年 12月 日本銀行と当座取引開始
 1969年 8月 東大阪市、八尾市、松原市を営業地区に編入
 12月 大阪市平野区に喜連支店開設
 1970年 2月 今里支店新築移転
 8月 藤井寺市、羽曳野市、柏原市を営業地区に編入
 10月 梅田支店新築移転
 1971年 7月 守口市、門真市を営業地区に編入
 1972年 8月 堺市を営業地区に編入
 12月 大阪市生野区に巽支店開設
 1973年 8月 寝屋川市、大東市を営業地区に編入
 1974年 12月 東大阪市に花園支店開設
 1975年 8月 自営オンライン開始
 1979年 7月 大阪市生野区に生野小路支店開設
 1980年 3月 両替業務開始
 1982年 7月 八尾市に八尾南支店開設
 1983年 7月 大阪市平野区に加美支店開設
 1986年 5月 南河内郡美原町を営業地区に編入
 7月 大阪市生野区に鶴橋支店開設
 1988年 9月 「永研会」(若手経営者サークル) 発足
 1989年 6月 梅田支店移転開店
 8月 本店ビル新築落成
 12月 生野支店新築開店

1990年 10月 外国為替公認銀行認可(本店)
 1991年 9月 VI導入(シンボルマーク、ロゴ、ブランドネーム変更)
 1992年 10月 東洋信用金庫の事業の一部を譲り受け、堺市に北
 12月 花田支店開設
 東大阪市に長田支店開設
 1993年 11月 大阪手形交換所直接交換参加
 1995年 4月 金融機関初のカジュアルデー実施
 5月 大阪共同事務センターに加盟
 1999年 11月 不動産信用金庫の事業の一部を譲り受け、天下茶屋
 支店開設
 2001年 10月 巽支店新築移転
 2003年 1月 投資信託窓口販売を全店で取扱開始
 2008年 11月 八尾市に八尾北支店開設
 2010年 8月 大阪市中央区に本町支店開設
 2012年 11月 中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等
 支援機関」に認定
 2013年 2月 「でんさいネット」サービス開始
 5月 北花田支店新築移転
 2014年 11月 大阪市北区にうめきた支店開設
 2015年 6月 「えいわ経営者クラブ」発足
 2016年 3月 城東支店新築移転
 8月 山王支店新築移転 天下茶屋支店を山王支店へ統合
 2017年 3月 玉出支店新築移転
 12月 今里支店新築移転 生野小路支店を今里支店へ統合
 2018年 4月 大阪府と「中小企業振興に関する連携協定」を締結
 5月 「大阪府障がい者サポートカンパニー優良企業」に
 登録
 11月 西支店新築移転
 2021年 2月 梅田支店移転開店
 3月 長田支店新築移転
 7月 本部新別館竣工
 2023年 3月 花園支店新築移転
 5月 本部第2別館竣工

信金中央金庫のご紹介



証券コード 8421 (東証上場)
 資金量 36兆円
 役職員数 1,258人
 拠点数 国内 14店舗 海外 6拠点

信金中央金庫 (略称:信金中金) は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関であり、信用金庫の中央金融機関として1950年に創立しました。

さまざまな金融商品・サービスを提供しているほか、全国の信用金庫から預け入れられた豊富な資金を国内外の金融市場における有価証券投資や事業会社などへの貸出により運用しています。

また、信金中金は、「地域の課題を解決する機能」、「信用金庫のセントラルバンク機能」および「機関投資家としての機能」を有しており、地域社会の皆さまに質

の高いサービスを提供することで、地域におけるさまざまな課題を解決し、信用金庫とともに持続的な成長を目指しています。

外部格付 (2023年3月31日現在)

信金中金は、邦銀トップクラスの格付を有しております。

格付会社	長期	アウトルック	短期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	安定的	-
日本格付研究所	AA	安定的	-



機能

地域の課題を解決する機能

信用金庫がお客さまのために行っている多様な業務をサポートし、顧客ニーズの多様化・高度化に信用金庫が迅速に対応できるよう、中小企業のビジネスマッチングや海外展開、個人の資産形成や相続、地域創生やフィンテックの活用などに取り組んでいます。

信用金庫のセントラルバンク機能

信用金庫の収益力向上や健全性確保などに向けて、信用金庫のセントラルバンクとして、コンサルティング機能のさらなる強化や信用金庫業界のサイバーセキュリティ対策のほか、信用金庫経営力強化制度等の適時・適切な運営を通じて、信用金庫業界の信用秩序の維持に万全を期しています。

機関投資家としての機能

全国の信用金庫から預け入れられた預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用しています。また、グローバルに投融資を行っている金融グループとして持続可能な社会の実現に向け、ESG投融資等を推進しています。

グループ紹介

信金中金グループは、信金中金およびグループ会社9社で構成されており、全国の信用金庫と連携しつつグループ一体となって幅広いサービスを提供しています。海外には6拠点を設け、現地銀行とも連携し、信用金庫取引先の海外進出などを支援しています。

- 証券業務
しんぎん証券(株)
信金インターナショナル(株)
- 地域商社業務
しんぎん地域創生ネットワーク(株)
- 海外ビジネス支援業務
信金シンガポール(株)
- 消費者信用保証業務
信金ギャランティ(株)
- 投資運用業務
しんぎんアセットマネジメント投信(株)
- 投資・M&A仲介業務
信金キャピタル(株)
- データ処理の受託業務等
(株)しんぎん情報システムセンター
- 事務処理の受託業務等
信金中金ビジネス(株)